

令和2年度資金収支状況について

1 資金収支

令和2年度における歳計現金等（歳計現金及び雑部金）の残高は、年度当初が約146億1千万円、令和3年3月末では約163億6千7百万円であった。

その間、一日あたりの平均残高は、約111億9千2百万円、最高残高が約457億5千万円、最低残高は△3億1千3百万円であった（表1参照）。また、歳計現金等の不足を補うため、財政調整基金から1回繰替運用を行った（表2参照）。

表1 歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
最高額	17,980	16,431	45,750
最低額	2,115	△166	△313
平均額	7,434	7,455	11,192

表2 財政調整基金からの繰替運用実績

月	繰替期間	繰替額	金利	繰替日数	支払利子
3	R3.3.15 ~ R3.3.17	5億円	0.01%	2日間	274円

2 基金運用

令和3年3月末現在における積立基金の残高は、約628億円であり、前年同期に比べ、約74億円の減となっている。

平成25年4月から開始された大規模な金融緩和政策によって市場には大量の資金が供給され続けるなか、平成28年2月より実施されている日銀のマイナス金利継続、現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響も大きく、金融機関の定期性預金金利及び債券利回りは極めて低い水準となっている。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性及び流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、令和2年度の運用益は約8千8百万円、運用利回りは約0.14%となった（表3参照）。

なお、令和3年3月末の積立基金運用状況は、表4を参照。

表3 積立基金運用益比較

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年度末残高	73,124,748,647 円	70,240,580,580 円	62,838,971,823 円
運用益	69,486,837 円	34,637,172 円	88,411,960 円
運用利回り	0.09%	0.05%	0.14%

表4 積立基金運用状況（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

基 金 名	残 高	運 用 種 別		
		普通預金	債 券	定期性預金
財政調整基金	26,648,825,338	18,950,790,338	698,035,000	7,000,000,000
社会福祉施設整備基金	3,515,115,262	2,015,115,262	500,000,000	1,000,000,000
減債基金	651,025,835	451,025,835	200,000,000	0
義務教育施設整備基金	17,949,113,746	17,949,113,746	0	0
平和基金	100,980,000	1,000,000	99,980,000	0
区営住宅整備基金	1,118,924,872	1,118,924,872	0	0
介護給付費準備基金	3,151,940,782	3,151,940,782	0	0
道路・公園整備基金	3,195,431,484	3,195,431,484	0	0
まちづくり基金	5,900,716,358	5,900,716,358	0	0
区民公益活動推進基金	3,223,556	3,223,556	0	0
環境基金	131,674,590	131,674,590	0	0
新型コロナウイルス 感染症対策利子補給基金	472,000,000	472,000,000	0	0
計	62,838,971,823	53,340,956,823	1,498,015,000	8,000,000,000